



澤田 ひろき

裕之 議員
(創政クラブ)



持続可能な消防体制について

Q 消防本部では、整備が困難な高機能な消防指令システムを共同で導入、活用できるため、指令業務の迅速化、的確化が図れる。また、指令システムの整備費用や維持管理費用を共同で負担するため、各消防本部が単独で整備、運用する場合に比べて大幅な経費削減が可能である。足利市との共同消防指令センターの今後の取り組みについて伺いたい。

A 消防長

今後の取り組みについては、主要機器の設置が完了次第、両市の指令員に対する機器の取扱いの研修を行います。その後、令和8年3月17日に両市の119番回線を共同消防指令センターへ切り替え、仮運用を行いながら最終調整を実施し、4月1日から正式に運用を開始する予定です。

その他の質問



栗崎 たくじ

卓二 議員
(創政クラブ)



移住・定住の取り組みについて

Q 地域働き方・職場改革等の推進について、若者や女性我希望するキャリアを実現できる職場づくりの取り組みを市内外に発信することで、転入の促進と転出の抑制を目指すところだが、現時点において考えている取り組みについて伺いたい。

A 総合政策部長

若者や女性、自身の能力が活かされ、成長していくことができ、希望するキャリアを実現できると感じられる職場や、将来において結婚・出産等のライフイベントの際にも、共働き・共育の時代にふさわしく、男女ともに柔軟な働き方ができる職場を増やしていくことで、地域全体で職場の魅力を高めていきたいと考えています。

その他の質問



久保 たかひろ

貴洋 議員
(創政クラブ)



日本列島の中心どまんなか「佐野市」について

Q 佐野市が日本列島の中心であることを、積極的にまちづくりに活かしていくべきだと考えている。当局の見解を伺いたい。

A 市長

本市が日本列島の中心であることに関しては、既に国内有数の集客を誇る「道の駅どまんなかたぬま」の名称として広く親しまれています。また、様々な着眼点による地理的中心地をへそとして地域資源にしている市町村で構成する「全国へそのまち協議会」を通じ、観光交流事業などに取り組んでいるところです。

議員ご指摘のとおり、地理的に日本列島の中心に在し、高速交通網の要衝として観光面のみならず、産業、文化、スポーツ、防災など、あらゆる分野の拠点として、今後も本市の発展のために積極的に活用していきます。

その他の質問

- ☆あそ野学園義務教育学校の開校により閉校となった学校跡地の活用について
- ☆観光スポットの夜間ライトアップ事業について
- ☆佐野市ネーミングライツについて
- ☆観光エリアスポーツ施設の衛生設備等の整備について

